

木下 正 議員

袋井駅南地区治水対策 今後の取り組み

問 水害対策強化のための新たな組織体制「治水対策室」への市長の思いを問う。

答 河川改修の推進、遊水池の整備、排水ポンプの増設などの治水対策には検討及び協議が必要である。水害対策の強化のため、治水対策室設置により、的確に対応するように努めたい。

問 台風15号、19号を受け、国の補正予算で2437億円が充てられたが市の対応は。

答 袋井駅南地区には、ポンプの設置などの対策に取り組み、田端東調整池の貯留量の拡大を図っていききたい。また、県で実施中の太田川下流工区における河道掘削を促進する追加執行を副知事に要望した。結果、予算が配分され、県に対し早期の事業執行をお願いした。

公共施設利活用の現状と 今後の対策

問 ICTを活用し、公共施設に関連する情報を一元管理するプラットフォームを構築し、市民の利用率・満足度を向上すべきではないか。

答 公共施設の空き状況、貸出し可能な器具、備品がわかることが必要である。準備は出来ていないが、その方向で今後いくべきだと思っている。



ムロープラザ

戸塚 哲夫 議員

農業振興ビジョンの見直し

問 認定農業者に対して袋井市独自の支援措置はあるか。

答 担い手農家等機械整備事業費補助金や、茶業支援対策事業費補助金などがある。作物の栽培技術、あるいは経費などの宮農相談、農地のあっせんなど、農業者への丁寧な支援を引き続き行っていきたい。

スマート農業の普及

問 スマート農業の普及に必要な取り組みは。

答 高額な費用負担を軽減するための支援はもとより、スマート農業に関する知識、理解を深めて、正しい情報を収集できる場としての研修等の機会を、県やJAなどの関係機関と連携して提供していくことが必要と考える。

緑茶の消費拡大

問 緑茶の効能について分析結果が公表された。需要が低下している緑茶の消費拡大の起爆剤にすべきと考えるが。

答 緑茶が健康長寿に有効である調査結果を最大限活用し、国内外の健康志向の消費者に向けPRし、新たな販路拡大につなげ、オール静岡茶の取り組みに積極的に参加、協力し消費拡大に努めていきたい。



お土産品茶商品「東海道 どまん中 袋井茶」